



↑遺族らが見守る中、さっそく寄贈された一輪車を乗りこなす児童たち

立 鷹巣小に一輪車など寄贈 派な卒業生になって

鷹巣小学校（内野真校長・児童 181 人）の卒業生で、本年 3 月に亡くなった鹿児島市の医師・梅田均さん＝享年（81）＝の遺族 4 人が 5 月 23 日、同校を訪れ一輪車 20 台とピアノ 1 台、桜の木 1 本を寄贈しました。

同日は、体育館で贈呈式が行われ、全校児童を前に妻礼子さん（77）が梅田さんへの思いを語りながら、「児童の皆さん、立派な卒業生になってください」とあいさつ。遺族から児童へ一輪車が手渡されました。

児童を代表して牧夏美さん（3 年）が「練習して上手に乗りたいです。ありがとうございます。」とお礼を述べました。

梅田さんは同校を卒業して医師となり、昭和 30 年ごろから 4 年間、鷹巣で診療所を開設していたこともあります。

↓川沿いを歩き、ホタルの舞を楽しむ参加者



光 第 4 回ホタルウォーク の乱舞を楽しむ

5 月 26 日、川床中スポーツクラブ（追田清和会長）が主催して第 4 回ホタルウォークが開催されました。

川床中央公民館をスタートし、汐見川沿いに山門野ため池で折り返す約 2 ㎞のコースに、お年寄りから幼児まで約 50 人が参加しました。

河川工事の影響で例年よりホタルの数は少なかったものの、子どもたちは目の前を飛び回るホタルを、珍しそうに追いかけていました。ため池上流付近では、まとまった光の乱舞を楽しむことができました。

農 人手不足に東建友会が一役 作業を建設業者が手伝う

高齢化による人手不足を解消しよう。町内の建設会社でつくる東建友会（福山義弘会長）が 5 月 8 日から中旬まで、鷹巣地区の農家の労働力不足を補おうと、ジャガイモ収穫作業を手伝いました。

この試みは、鷹巣地区村づくり委員会から依頼を受けた同会が快諾。畑 1 カ所に 1－2 人が駆けつけ、積み込みや運搬など力仕事を加勢しました。

公共工事の少ないこの時期だからこそ実現したもので、同会員に支払われた費用は、町内のジャガイモ収穫作業の相場程度です。



↑ジャガイモをコンテナへ運ぶ建設会社社員